

大阪府地球温暖化防止活動推進員の活動報告

泉原 一弥さん

皆さん、「やぁね、こけちゃっかー（屋根苔着車）」をご存じでしょうか？  
そうです！世界初のあれです！あの車です。（笑）

私は、大阪府立園芸高等学校環境緑化科で長く教員をさせて頂きました。沢山の優秀な卒業生を輩出しました。これが私の誇りです。そんな私が家業の園芸店を継ぐ必要があり教員を退職。その後紆余曲折があり、いつしか、フリーニング店の経営者に。経営が安定して来た頃、ふと振り返ると、教え子達に説いていた環境問題は？何一つ出来て居ない自分を恥ずかしく思いました。そこで一念発起！店舗の屋根を緑化するぞ！と誓った私。当店は、軽トラ1台での移動店舗。店は車です。その車の屋根を生きた植物で緑化が出来たら面白いやん！

はじめに考えたのが、芝生でした。曲面の屋根に木枠を組んで、土を乗せ、芝生を植え、芝刈りをして、いつかカップを切り、ゴルフ！こんなあほな事を真剣に考えました。しかし土の重量を計算したら、燃費も下がり、意味の無い事に唖然。ヘデラと言うツル植物も使いました。助手席に植木鉢。ツル先を助手席の窓の隙間から屋根へ誘引。テグスで縛り付けて高速道路を一周！見事に葉っぱは飛びました。

そしてやっと【苔】に出会いました。スナゴケという大変強い苔です。炎天下でも乾燥下でも死なない凄い苔さんです。車の屋根への設置方法も苦労の末、無事完成！

それが、2011年6月19日です。思い付きから、13年後の事でした。

「やぁね、こけちゃっかー」完成後には、沢山のメディアに取り上げて頂き、プチ有名に。この頃の夢は、苔車の増車です。日本中、世界中を夢みるも、賛同者は現れず。今度は、ハードルをめっちゃ下げて、まずは苔を楽しんでもらおうと始めたのが「苔テラリウムワークショップ」です。これが当たりました！現在（2021年3月）301回！約6年！のべ約数千人の皆様に苔の魅力を伝えて来ました。最近ではコロナ禍もあり、オンラインで「苔テラリウムワークショップ」を指導させて頂いています。

さて、晴れた日が続いて川には水が流れます。それは上流の雨を一時的に貯めてくれている苔さん達のお陰でもあります。屋上（車上）を苔緑化すると、その下の空間が熱く成りにくいので、クーラーの使用が軽減出来ます。車体と苔が一体と考えたら、二酸化炭素を吸収し酸素を発生する特別な車がこれです。

皆様も、苔！いかがでしょうか？まずは一緒に遊んでみませんか？



マスコットキャラクター「えこたま」



みどり公社HPにアクセス！



「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと（少し）だけ、えーこと（良いこと：やさしい）、エコロジカルにしよう、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行／大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社  
TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/>  
編集協力・印刷／株式会社ワイルハーツ  
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 2F  
TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 <http://www.w-hearts.jp/>



# 気候変動 × 防災

## あらゆる分野で取り組むべき横断的な課題

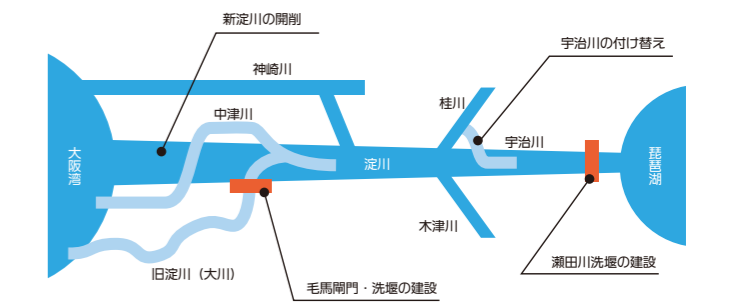
### 災害をいなくす知恵

先人たちは地域の特性、自然の性質を活かし、森林による保水力の活用、河川と農地の一体性を確保する伝統的な治水技術（霞堤）、計画的に洪水を貯留する遊水地なども活用しながら、川を治めてきました。

災害をいなくす土地利用の見直しと地域づくりに関する古来の知恵に学び、自然が持つ多様な機能を活用して災害リスクの低減等を図ります。このことを「グリーンインフラ」といいます。

大阪でも、淀川大洪水に伴って明治27年に計画され、29年から行われた淀川改良工事があります。

### 淀川改良工事



国土交通省淀川河川事務所HP (<https://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/>) を参考に作成

### 自助・共助の意識の促進

今後、これまでの経験では想定外となる気象災害の激甚化も念頭に、「自らの命は自らが守る」自助・「皆と共に助かる」共助の意識をもち、ハザードマップの確認や適切な防災行動を行うためのルートや場所の確認等、私たちひとり一人の意識の向上が求められてきます。また、地域や自治体、企業も一体となって、多世代が気候変動と防災を学び、災害に備える環境づくりもより必要になっていくと考えられます。

### 私たちが今できること

災害は生じるものとして考えて、被害を最小限に抑えるために、対策を意識した生活をするのが大事です。また、気候変動に対する緩和策として、私たちの小さな取り組みが将来の防災への備えにつながります。例えばマイボトルやマイバッグの利用、電気の使い方を見直す、再生可能エネルギーの利用を検討するなど、私たち一人ひとりが出来ることは小さくともたくさんあります。それがやがて住んでいる地域に広がり、つながることで、災害の軽減に近づけるのではないのでしょうか。

想定を超える気象災害が各地で頻発し、気候変動はもはや「気候危機」と言える状況の中、こうした時代の災害に対応するためには、気候変動リスクを踏まえた抜本的な防災・減災対策が必要です。

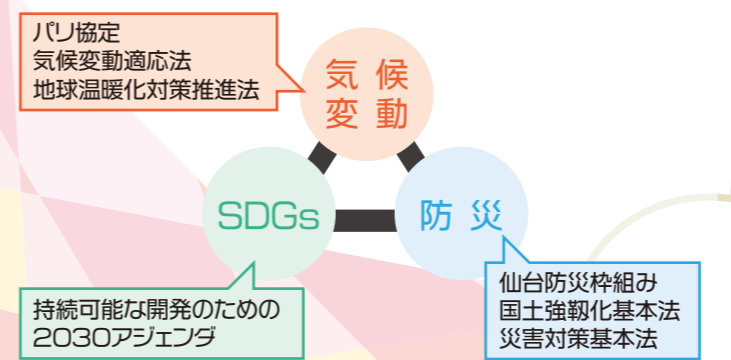
このため今般、気候変動対策と防災・減災対策を効果的に連携して取り組む戦略（気候危機時代の「気候変動×防災」戦略：小泉環境大臣・武田内閣府特命担当大臣共同メッセージ）が取りまとめられました。



大阪府における浸水被害の例

### 気候変動 × 防災の主流化

気候変動と防災は、あらゆる分野で取り組むべき横断的な課題であり、気候変動のリスクを可能な限り小さくするため、温室効果ガスを削減する緩和策にも取り組む必要があるとされています。様々な分野の政策や計画等の中に気候変動と防災への対応に資する目標も立てること、地域づくり・地域運営など地域の課題を総合的に解決する中で気候変動対策と防災・減災対策も講じることなどにより、脱炭素社会への移行も見据え、気候変動に対応した防災力の高い社会を構築していく必要があります。パリ協定、仙台防災枠組み及びSDGsを「気候変動×防災」の三位一体として同時達成が目指されています。



環境省HP「気候変動×防災」に関する共同メッセージの公表について (<http://www.env.go.jp/press/108163.html>) を参考に作成

### センター公式SNSははじめました！

SNSでは、マンガなどのコンテンツ配信やエコな暮らし・気候変動に関する様々な情報を発信しています。ぜひフォローしてね！



ぼくのマンガも読んでみてね★  
@osk\_ondancer



@osk\_ondancer

### ★センターホームページもリニューアル★

温暖化対策啓発やエコな暮らしのお役立ちコンテンツを公開！ぜひご活用ください。

- マンガ
- 動画
- すぐらく
- ナッジ啓発



## 2021年4月6月 大阪府民の森 イベント情報

### カタクリ咲く金剛山のハイキング

【期間】4月11日（日）  
【時間】10:00～15:00  
【定員】20名  
【場所】府民の森ちはや園地 【料金】500円  
【集合】金剛山登山口バス停  
【申込】大阪府民の森HPより申し込み。  
大阪では珍しいカタクリの咲く金剛山へ、早春の草花を楽しもう。

### 金剛山山の春まつり

【期間】4月25日（日）  
【時間】10:00～15:00  
【場所】府民の森ちはや園地  
【料金】無料  
【集合】府民の森ちはや園地ピクニック広場  
【申込】不要  
山上の野外音楽会やクラフト、昔遊び等、いつもと違う金剛山をお楽しみください。

### 野鳥観察会

【期間】5月4日（火祝）  
【時間】10:00～12:00  
【定員】30名  
【場所】府民の森ちはや園地 【料金】500円  
【集合】ちはや星と自然のミュージアム  
【申込】大阪府民の森HPより申し込み。  
初心者のための野鳥観察入門。双眼鏡の使い方から始めます。

### 森のおもちゃづくり

【期間】5月5日（水祝）  
【時間】13:00～14:00  
【定員】20名  
【場所】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】500円  
【集合】ちはや星と自然のミュージアム  
【申込】大阪府民の森HPより申し込み。  
木の美などを使って、かわいい森のおもちゃを作ります。

### クライミング体験講習会

【期間・時間】5月9日（日）13:00～15:30 / 6月13日（日）  
午前の部 9:30～12:00 / 午後の部 13:00～15:30  
【定員】小学校4年生以上 各回20名  
【場所】府民の森ほしだ園地 【料金】3000円  
【集合】ほしだ園地案内所（ピトンの小屋）  
【申込】大阪府民の森HPより申し込み。  
高さ16.5mの本格的なクライミングウォールに挑戦（初心者歓迎）どなたでも気軽に楽しめます。

### 初夏の自然観察とゲンジボタル鑑賞

【期間】6月19日（土）  
【時間】16:00～21:30  
【定員】10家族  
【場所】府民の森くらんど園地 【料金】500円  
【集合】くらんど園地管理事務所  
【申込】大阪府民の森HPより申し込み。  
初夏の自然観察とゲンジボタルの光の舞を楽しむ。

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止又は順延する場合があります。



### えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

ご家庭や会社で取り組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または下記のHPよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしております！

ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>



### えこっと OSAKA を購読しませんか？



継続して購読されたい方は、1期（年3回発行）送付分の切手、84円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分を送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター  
お近くの市町村（環境担当部署）、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっと OSAKA は、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です

本紙は1部あたり10.2gのCO<sub>2</sub>（ライフサイクル）を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収（間伐促進型プロジェクト）で創出されたクレジットでオフセットしています。



# 凸版印刷株式会社 事業も環境保全も継続していくこと サステナブルな地球環境を目指して

1900年創業から長きにわたり、国内だけでなく、世界規模で印刷業界を支え、1991年からは環境統括部門である「エコロジーセンター」を設立し、積極的に地球環境保全に取り組む凸版印刷株式会社を特集します。

今回ご協力いただいたのは、凸版印刷株式会社、エコロジーセンターの木下 敏郎さん。オンラインでのインタビューに快く応えてくださいました。

編) : えこっと OSAKA 編集班  
木) : 凸版印刷 (株)・木下さん

## ■ふれあい豊かでサステナブルな暮らし

編) 印刷業界の最大手の一角である企業としてどのような環境問題への取り組みや社会貢献を目指されているのでしょうか。

木) 私どもは2019年に「TOPPAN SDGs STATEMENT」を公表し、「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」の実現を目指すべきゴールと位置づけました。事業活動を通じて、「安全安心で豊かなまちづくり」「心と身体の豊かさとお客さまとのエンパワーメント」、そして環境への取り組みによる「サステナブルな地球環境」を目指しています。

＜ふれあい豊かでサステナブルな暮らし＞  
事業活動マテリアリティ



編) 印刷業界のトップリーダーとしての主な取り組みをお聞かせください。

木) 地球環境問題への全社活動として「トッパングループ地球環境宣言」に基づき、「トッパングループ環境ビジョン2050」を策定、公表しました。ここでは2050年に向けて温

室効果ガス排出の実質ゼロ、廃棄物のゼロエミッション、水の効率的な利用を達成することを掲げています。この達成は容易なものではありませんが、ムダをなくす従来の活動の強化と資源の利用に関するイノベーションの創出に努め、達成に向けて取り組みを強化していきます。

編) この「環境への取り組み」に力をいれていくきっかけは、何だったのでしょうか？

木) 凸版印刷の本社に全社の環境統括部門としてエコロジーセンターを設立したのが1991年、そして凸版印刷地球環境宣言を公表したのが1992年です。この年は地球サミットにおいて、地球環境問題に対する「環境と開発に関するリオ宣言」が採択された年でもあります。私どもは多くのお客さまとお取引させていただいており、地球環境問題に取り組みたいというお客さまと活動を共にできるよう、活動のギアを上げる機会となりました。

## ■「継続していくこと」の難しさと大切さ

編) この活動をされていくなかで、「活動してよかったこと」や「難しかったこと」がありましたら、お聞かせください。

木) 提供する製品、サービスについて、環境への取り組みは継続が一番重要なことと考えています。

例えば、パッケージの透明バリアフィルムである「GL BARRIER」は発売してから30年以上になりますが、その期間絶えることなく研究、開発を続けてきました。それによって生まれた地球環境問題の解決策が保存性を高めて食品ロスを減らすパッケージ、軽量な形態で輸送中の温室効果ガス削減となるパッケージなどです。さらに、海洋プラスチックごみ対策として、リサイクルが容易なパッケージも開発しました。これらは多くのお客さまのご評価をいただき、地球環境問題解決へ貢献とともに、透明バリアフィルムのトップブランドとして事業への貢献も果たしています。CO<sub>2</sub>排出削減の取り組みとして、地球温暖化防止に向けて、以前より省エネ

ギーに努めてきて、もうこれ以上は厳しいと思うこともありましたが、工場などで使っている電力量の今を見えるようにしてムダに使っていないかを監視できるようにするなど管理のレベルを上げるチャレンジや、LED照明や効率の高い設備の導入、太陽光発電設備などの導入によりCO<sub>2</sub>排出量の削減とともにエネルギーコストを削減することができました。



「GL-BP」「GL-LE」製品写真

編) お忙しい中、インタビューに答えていただきありがとうございました！最後に「今後の取り組み」や「読者の方へのメッセージ」をお願いします。

木) サステナブルとは下から支えるという意味があり、継続することが一番重要です。トッパンは「トッパングループ環境ビジョン2050」の達成に向けて取り組みを継続し、地球温暖化、海洋プラスチックごみ、食品ロスなどの社会的課題の解決に貢献する製品、サービスの開発、提供により、これからも「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」の実現に貢献していきます。また、トッパンはおおさかATCグリーンエコプラザの環境教育ゾーン\*2にも私たちの取り組みを紹介しています。読者の皆さまにおかれましても機会がございましたら、一度ご覧いただければと考えております。

約30年前から積極的に行われてきた同社の「環境問題への取り組み」は、事業活動を通して、地球全体の環境保全を考えられた世界規模の活動となっております。印刷業界のトップリーダーとして「ふれあい豊かでサステナブルな暮らし」を目指し活動される同社の取り組みにこれからも期待しております。

\*2 詳しくは 凸版印刷株式会社 ホームページ (https://www.toppan.co.jp/) にて  
\*1 おおさかATCグリーンエコプラザ (https://www.ecoplaza.gr.jp/)